

# 校長室だより

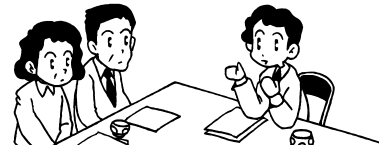


H25 (2013) 年 NO.9 岸和田市立浜小学校 渡瀬 克美

## PTA 実行委員会での学校からの の報告をご紹介します。

今年度も去る2月15日、最後の実行委員会がありました。内容はPTA活動の報告と反省でした。

学校を支えてくださっているPTA会長様や企画・実行委員の方々のご努力に対して改めて敬意を表するとともに衷心より感謝申し上げます。さて、浜小学校では、今年も学校教育の進捗状況を毎回報告させていただいています。それは、P(保護者)だけのお話ではなく、T(教員)も参加し実行委員のみなさんに学校の様子を知っていただきたいと考えたからです。今年度で10年目になります。全校の保護者の皆さんにも知っていただきたい内容ばかりですので、今回もそれぞれの担当の教員からの話を紹介します。



### 【研究推進委員会】片岡永子 首席教諭より

子どもたちは学校に学習に来ています。学習がわかれば学校が楽しく充実したものになります。そこで、わかる授業・楽しい授業をめざし、今年度も研修を重ねてきました。今年も3回、ある先生の授業を全員で見るといふ公開授業を行いました。公開授業の前には、この1時間で子どもたちにどんな力をつけたいのか、そのためにはどうすればいいのかを話し合い、授業の後には、よかった点や改善すべき点などを話し合い、私たちの授業力UPを目指しました。一方、学習の方法としては、子どもたちはまず自分一人で考え、そのあと意見交換をします。そこで、友達の考えのよさや自分の考えのよさに気付き、自尊感情が育ちます。それが次へのやる気につながります。学習の終わりには、この1時間でわかったことを自分の言葉でまとめることにより、学習面だけではなくいろいろな問題を言葉で解決できる力も育ってきています。子どもたちは大変落ち着いて学習に、行事に取り組んでいます。私たちは来年度もさらに研修を重ね、子どもたちの充実した学校生活をサポートしていきたいと考えています。

### 【生活指導委員会】桂 久栄 教諭より

この一年間についてご報告させていただきます。本年度は落ち着いた一年間であったと思われれます。日々いざこざがなかったわけではありませんが、大きなけんかや事件はなかったように思います。学校側の考えや願いを「ななまち通信」を通じて発信して参りました。おかげで保護者の方々のご理解やご協力があり、特に大きな混乱もなく過ごすことができたと考えています。有り難うございました。現在、難しいと思うことといえば、放課後の遊びについてです。2点あるのですが、1つは校区が小さいので、1本道を隔てると中央小学校や城内小学校となります。そこで他校とのトラブルが少しありました。ですから校区外へ行かないよう声かけよろしくお願ひ致します。もう1つは大ブームとなっているペニーでの遊び方です。道路での遊びとなっているようですが道幅いっぱいになって遊んでいます。大変危ないです。

そこで、学校といたしましては大きな事故が起きないうちに道路での遊びはやめさせようと決めました。どうぞご理解とご協力をお願い申し上げます。今年度もご協力本当にありがとうございました。来年度も引き続きよろしくお願ひいたします。



### 【人権推進委員会】澤田 直子 教諭より

今年も浜小学校では職員が力を合わせて人権教育に取り組んできました。子どもの心に寄り添うことを一番大切に考

え子どもとしっかり向き合い、子どもの話をじっくり聞き、子どもの心を理解していくことに努めてきました。

丁寧な、思いやりのある言葉を職員から使い、心豊かな生活が送れるようにするためにも授業中に「さん」をつけて名前を呼ぶことも継続しています。自分がクラスや学校で大切な存在であると子ども自身が気付くことは意義深いことです。そのために、浜小学校では運動会や音楽会などの行事前にどんなふうに行事に参加しようとしているのかなどのアンケートをとり、行事後には振り返りアンケートをしています。これにより、子ども達は、自分の役割に責任を持って積極的に行事に参加できています。

今年は生命尊重や両親への感謝、いいところ見つけ、感情には原因があることなど、人権に関する授業を参観していただき、保護者の方と一緒に人権について考えてきました。

また、8月6日の平和登校日にはヒロシマの原爆や戦争について学習し、繰り返したくないということを全校で学びました。

保護者の方には学校で取り組んでいることを、学校便りや学年便りなどいろいろな機会でも広くお知らせしてきましたが、さらに具体的に学習内容などがお伝えできるようにしていきたいと考えています。

浜小学校の子どもたちは自分も、そして友達も大切に出来る人権感覚が育ってきていると感じています。これは保護者の方々のご理解とご協力のおかげです。ありがとうございました。来年度もさらに人権教育に力を入れていきたいと考えています。1年間のご協力、ありがとうございました。



### 【特別活動・児童会】 福水 宏彰 教諭

今年度もたてわり活動を中心に児童会活動を行ってきました。5年生6年生が班長・副班長という形で中心となってたてわり班をまとめ、活動に取り組みました。主な活動といたしまして、6月のなかよしまつり、10月運動会、12月たてわり遊びの会、1月はまっ子チャレンジ、2月6年生の遊びの会、3月6年生を送る会、そしてあいさつ運動、募金活動と多くの行事を子ども主体として取り組むことができました。今年度、子どもたちが中心となって行事を行う力がついてきていると実感できた一年だったと思います。

来年度は、現4・5年生に中心となってもらい、引き続き子どもを主体とした児童会活動を行って参りたいと思います。

### 【保健体育（体育）部】 濱田 樹哉 教諭より

体育的行事としては本年度もスポーツテスト・学校水泳・運動会・持久走記録会と大きく4つを行いました。天候の関係で延期になったりしましたが、児童と教師がそれぞれ目的をもって取り組めることができました。また行事のたびにPTAの役員様をはじめ保護者の方のご協力にも大変感謝しております。

体育主任として行事を運営してみて感じたことですが、準備、企画、進行、片付けまですべて子ども自身が主体となって取り組むことで、本当に力がついてきていると感じました。特に6年生のがんばりは学校として誇らしく思いました。子どもたちが自分で動く力が浜小学校ならではなくなっていけばと感じます。

最後に先日の持久走記録会のことをお話します。やはり全体として自分のペースで走り続け、途中で歩くことなくがんばる児童が非常に多くなったなあと感じました。またそれを児童同士が賞賛しあえる雰囲気があふれてきたなとも思います。

ただ学校としての反省点として本年度からコース変更をしたため、一部の学年で観客にいられた保護者の方と接触がありました。学校として安全管理が少し足りなかったと感じておりますので、来年度はより一層気をつけて実施していきたいと思っております。

### 【保健体育（保健）部】 小野寺 陽子養護教諭より

今年度は昨年度にも増して、けがやしんどさで保健室に来る子が少なかった一年でした。保健分野では、自分の体や心を大事に出来る子、また、まわりの人を大事にできる子を育てたいと考えて活動を進めてきました。子どもの抱える課題は一人ひとり違います。うまく言葉で表現できないで、乱暴な言葉づかいや行動から、ついケンカになってしまう子、胸いっぱいにくれた思いを吐き出せず、抱え込んでしまう子、「しんどい」と言っても保健室に来る子の中には、けがや病気だけでなく、心や、人との関わりから生まれるしんどさも多くありました。先日、あるカウンセラーの方のお話をきく機会があったのですが、その中で、こんなお話がありました。

「自分は自分でいいんだ」と思えることが、本当の自信を持つということです。人がどう思おうと、自分には自分の良さがある、自分を好きでいられることが、自信をもつということ。そのために必要なものが3つあります。

一つは、ダメなものはダメとってもらえること。二つめは、たくさんほめてもらえること、あなたのことが好きだよとってもらえること。最後に、決して見捨てないこと。やり続けること。

そして、最後の「見捨てない」ということは、親にしかできないことなんです。

と、おっしゃっておられました。わたしたち大人でもそうですが、子どもたちは、一人ひとり体にも心にもできることと出来ないことがあって、苦手なものもあります。また、私たち大人にすれば「当たり前」のことで、子どもにとれば、とても努力をして頑張っていることがたくさんあると感じています。今年度以上に来年度も、子どもたち一人ひとりがより元気に、よいところをたくさん伸ばしていけるような保健活動にしていきたいと考えています。

一年間ご協力、ありがとうございました。

kodomo

